

平成24年度大阪府学力・学習状況調査

小学校第6学年

国語 A

注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
 - 2 調査問題には、国語と算数の問題があります。国語の問題は1ページから14ページまであります。算数の問題は反対側の表紙から始まり、1ページから12ページまであります。
 - 3 解答用紙は、国語の解答用紙⑥（国語A）と算数の解答用紙⑤（算数A）があります。解答は、すべて解答用紙に書きましょう。
 - 4 解答用紙は、オモテとウラの両面に解答を書くところがあります。解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、こく、はつきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。
 - 5 解答用紙の「児童記入らん」に、組、出席番号、男女を書き、マークランを黒くぬりつぶしましょう。
 - 6 解答時間は、次のとおりです。
 - ・ 国語 A 20分間
 - ・ 算数 A 20分間
- ※それぞれの時間になったら、合図があります。
- ※国語の問題を解き終わっても、算数の問題に進んではいけません。
- ※解答が早く終わったら、よく見直しましょう。

1

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

この夏、クラスのみんなと、体験学習で海に行きました。海でおよいだあと、漁師さんに船の中を見せてもらいました。そこには地引きあみや、あみをまき取るためのきかいが積んでありました。

その後、わたしたちは海辺で、地引きあみを引っ張りあげる体験をさせてもらいました。あみはとても重く、大変な作業でしたが、みんなできょうりよくしてやりとげました。

(問い) ——— 線部アからウのひらがなを漢字に直しましょう。

ア
およいだ

イ
きかい

ウ
きょうりよく

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

わたしが団長として率^アいているサーカス団は、日に日に人気がなくなり、観客数^イが減少^イしていききました。そこで、お客さんが参加できる易^ウしい手品や、玉乗り体験を始めたところ、会場が満員になるほどの人気となりました。

(問い) 線部アからウの漢字をひらがなに直しましょう。

率^アいている

減少^イ

易^ウしい

3

1の地名をひらがなで書きましよう。また、2の地名をローマ字でていねいに書きましよう。ローマ字のはじめの文字は大文字で書きましよう。

国内線出発			
便名	行先	時刻	
114	Sapporo	13:25	
303	Nagoya	13:50	
154	Okayama	14:35	
205	秋田	15:00	

1 Sapporo ⇒ []

2 秋 田 ⇒ _____

※ 解答は、解答用紙に書きましよう。

問題は、次のページに続きます。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

わたしたちバスケットボールクラブは、二十人のメンバーでコウ成アされています。わたしたちの強さの秘ひけつは、みんなで作戦をたてて試合にのぞむこと①です。バスケットボールにカン心イがある人は、ぜひ体育館に見学に来てください。

一 線部ア・イのカタカナで書かれた部分と同じ漢字を使うものを、1から4の中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

ア
コウ成

- 1 彼は学カレコウの先生だ。
- 2 太平洋をコウ海する。
- 3 先生のコウ義はおもしろい。
- 4 人体は複雑なコウ造をしている。

イ
カン心

- 1 外国と友好カン係を結ぶ。
- 2 卒業式にカン謝の言葉をおくった。
- 3 新しい校舎がカン成した。
- 4 植物のカン察日記をつける。

二 「作戦をたてて」の中の①——線部の言葉について国語辞典で調べます。どのような言葉にして調べるとよいですか。ひらがな三文字で書きましょう。

※解答は解答用紙に書きましょう。

三 「試合にのぞむこと」の中の②——線部の言葉を国語辞典で調べると、左のような説明がありました。ここではどの意味で使われていますか。次の1から4の中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

のぞーむ

- 1 【臨む】 ある場所に面する。
- 2 【臨む】 参加する。出席する。
- 3 【望む】 遠くからながめる。
- 4 【望む】 こうあってほしいと思う。

古川さんの学級では、毎朝「今、がんばっていること」というテーマで、一人ずつ一分間スピーチを行っています。

一 古川さんは、がんばっていることについて発表するために、次のアからウの【カード】

を用意しました。古川さんは、実際にはどのようなように発表を組み立てて話したのでしょうか。

【古川さんが実際に話した内容】に合わせて、アからウの【カード】を並べかえ、その記号を書きましよう。

【カード】

ア がんばっている理由

イ がんばる前とのちがい

ウ がんばっている内容

【古川さんが実際に話した内容】



わたしが今、がんばっていることは、走って体力をつけることです。毎日放課後に、近くの公園のグラウンドを十周以上走るようにしています。

わたしは学校のサッカークラブに入っています。先月の試合では、せっかく同点になったのに、逆転のチャンスにボールに追いつくことができなかつたからです。つかれて最後まで力を出しきれなかつたのでした。だから、二度とくやしい思いをしないように走っています。

最初は、十周でくたくたになっていましたが、今では、二十周走っても平気になりました。今度こそは、試合の最後までがんばれるよう、体力をつけていくつもりです。

二 古川さんは、スピーチの内容を聞き手にわかりやすく伝えるために、スピーチをどのようにくふうしていますか。もっともふさわしいものを、次の1から4の中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 はじめに質問を投げかけることで、聞き手のかん心を引くようにしている。
- 2 友だちの意見を加えて説明することで、聞き手に納得なっとくがいくようにしている。
- 3 自分の体験を具体的に話すことで、聞き手にとって想像しやすくしている。
- 4 とちゅうで話の内容をまとめることで、聞き手にとってわかりやすくしている。

家庭科クラブの太田さんは、家でスイートポテトを作るために、作り方をクラブの先

生に聞きに行きました。【先生のお話】をもとに【スイートポテトの作り方】をまとめ、

クラブのみんなに配ろうとしています。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【先生のお話】

用意する材料は、3人分だと、サツマイモ1本、バター10グラム、さとう20グラム、たまごの黄身1つです。

作り方は、サツマイモをあらってから、皮をむいて、2センチくらいのはばで輪切りにします。切つてそのまま置いておくと黒く変色してしまうから、すぐに水につけておきましょう。

次に、切ったサツマイモを煮^にて、やわらかくなったら、ざるにあげてよく水気を切ります。冷えるにつぶしにくくなるから、熱いうちにすばやくサツマイモをつぶして、バター、さとう、たまごの黄身を入れてよく混ぜてください。

最後に、型に入れて形をきれいに整えて、焼き目がつくまでオーブントースターで焼きます。だいたい10分から15分ぐらいですね。おいしいそうな焼き目がついたら、完成です。

おいしいスイートポテトを作ってください。



【スイートポテトの作り方】

スイートポテトの作り方

材料 (3人分)

- | | |
|---------|-------|
| ・サツマイモ | 1本 |
| ・バター | 10グラム |
| ・さとう | 20グラム |
| ・たまごの黄身 | 1つ |

作り方

- ① サツマイモをあらって皮をむく。2センチのはばで輪切りにする。

☆ 注意

ア

- ② サツマイモを煮る。やわらかくなったら、ざるにあげてよく水気を切る。
- ③ サツマイモをつぶす。材料のバター、さとう、たまごの黄身を入れてよく混ぜる。

☆ 注意

冷えてつぶしにくならないように、熱いうちにすばやくつぶす

- ④ 他の材料と混ぜたサツマイモを型に入れます。形を整えてから、焼き目がつくまでオーブントースターで10分から15分焼きます。

一 【スイーツポテトの作り方】の「作り方①」の ア の中に入るふさわしい内容を、「作り方③」の の書き方と同じように書きましょう。

二 太田さんが、【スイーツポテトの作り方】を読み返してみると、作り方①～④の説明の中で書き方のそろっていないところが見つかりました。どのように書き直したほうがよいかを説明したものとして、もっともふさわしいものを、次の1から4の中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 作り方①は、「だれが」という主語がぬけているので、「わたしが」という主語を書き足したほうがよい。
- 2 作り方②は、サツマイモを煮るための調理道具が書いていないので、「サツマイモをなべで煮る」と書いたほうがよい。
- 3 作り方③は、文が二つに分かれていてわかりにくいので、「～から」という言葉でつなげて一つの文にしたほうがよい。
- 4 作り方④は、述語が「くます」となっているので、作り方①～③と同じように「入れる」「焼く」としたほうがよい。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

昔の日本では、布はなかなか手に入りませんでした。そのため、大切な布を少しでも長く使えるようにそめ方の工夫をしました。^(注)「あい」という植物を使って、布を青くそめる「あいぞめ」も、その一つです。「あいぞめ」は、単に布に色をつけるだけではなく、布をじょうぶにし、何度もそめるとせんたくに強い布を作ることができます。

また、「あい」は、昔から病気にきく薬としての効能があると言い伝えられており、「あいぞめ」の布は、ひふをせいけつに保つと言われていきます。

このように、「あいぞめ」は、色を楽しむだけでなく、大切な布を長く使い、ひふを守るなど、生活に役立つ工夫として長く伝えられてきたのです。

(注) 「あい」||「あいぞめ」に使うタデ科の植物。



(問い) この文章の題名として、もつともふさわしいものを、次の1から4の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 「あいぞめ」の効果
- 2 「あいぞめ」の仕方
- 3 「あいぞめ」の産地
- 4 「あいぞめ」の種類

問題は、次のページに続きます。

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

(安藤美紀夫「しまふくろうとならの木」による。)

(注) おじろわしⅡ鳥の一種。つばさを広げると、約2メートルになるものもある。

(問い) この文章に表れているブーボの気持ちとして、もっともふさわしいものを、次の1から4の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 おじろわしに泉のある狩り場をうばわれたことを残念に思う気持ち。
- 2 若いしまふくろうに狩り場をあらされた自分をくやしく思い、強がっている気持ち。
- 3 話し相手だったならの木がすっかり年老いたことが腹立^{はらだ}たしく、がっかりした気持ち。
- 4 若いしまふくろうからならの木を守りぬいたことを喜び、うれしく思う気持ち。

これで、国語Aの問題は終わりです。